

教育・学習形態の分類

	Coombs 1973	教育分類国際基準 (UNESCO1975)	成人教育用語集 (UNESCO 1979)	ユネスコ・シソーラス (UNESCO1995-)	教育分類国際基準 1997 (UNESCO1997)
定型的	<p>定型的教育 階層的構造を有し、年齢順に等級化された「教育システム」で、小学校から大学に至り、さらに一般的学術研究や全日制の技術・専門訓練のための特別プログラムや施設をも含む。</p>	<p>定型的教育 教授様式の如何に関わらず、学生の入学・受講手続きあるいは学籍管理のなされるもの。従って、ラジオやテレビによる教育課程であっても、視聴者が登録されていれば定型的教育に含まれる</p>	<p>定型的教育 1 構造化され、時間的に順序づけられており、初等教育、中等教育、大学さらに技術教育および高等教育のための全日制の特別コースで供される教育。この教育を提供する機関のことを示すこともある。 2 どんなものであれ定型的に構造化され、継時的に組織化され、そこでの教師と被教育者の役割が明確に規定されている教育。教師が管理し、被教育者の教育に対する責任を負う。 3 学習者の入学登録が必要とされる教育プログラム (UNESCO 教育分類国際基準)</p>	<p>定型的教育 (特に定義なし)</p>	<p>定型的教育 (初期教育、正規学校・大学教育) 学校、大学、その他の定型的教育機関のシステムによって提供される教育。通常、児童から青少年までの全日制教育の連続した「階段」をなしており、一般的に5-7歳で開始し、20-25歳まで継続する。 若干の国ではこの「階段」の後期は定時制雇用と正規の学校や大学への定時制通学を結合した組織的プログラム、これらの国で「デュアルシステム」等の名称で知られているプログラムによって構成されている。</p>
不定型的	<p>不定型的教育 確立した定型的教育システムの外部で営まれる組織的教育活動の全て。独立した教育活動の場合もあれば、なんらかの大きな活動の重要な側面として実施されることもある。いずれにせよ、特定の学習希望者および学習課題の支援を意図するものである。</p>	<p>不定型的教育 学生あるいは受講者の入学手続きも学籍管理も行われない教育</p> <hr/> <p>注：以上2つを教育分類の対象とし、以下の3つの「学習」は教育分類には含まない</p>	<p>不定型的教育 1 学校外教育を参照。 2 学習者の入学登録を要件としないか実施しない教育プログラム (UNESCO 教育分類国際基準)</p>	<p>不定型的教育 組織化され体系的な学習活動であって、多くの場合労働と結びつき、定型的教育システム外部で提供されるもの。</p>	<p>不定型的教育 組織的かつ持続的な教育活動であって、上記の定型的教育の定義に正確に該当しないものすべてをいう。それゆえ、不定型的教育は教育施設の内外で生じるものであり、あらゆる年齢の人に向けられたものである。各国の条件に応じて、不定型的教育は、成人識字、学校外の児童のための基礎教育、生活能力、労働能力、教養文化などを与える教育プログラムをカバーしている。不定型教育プログラムは「階段」システムに準拠する必要もないし、期間もさまざまである。</p>
非定型的	<p>非定型的教育 全ての個人が、態度、価値、能力、知識を日常経験から、身の回りの教育的影響・資源から、一家族や近隣社会から、労働や遊戯から、市場、図書館、マスメディアから一獲得していく真に生涯に渉る過程。</p>	<p>非定型的教育 家族や社会によって管理されている学習 (例:母親が子供に教えること)</p>	<p>非定型的教育 個人が日常的な経験や生活環境中の教育的な影響や資源を通じて一家族や隣人から、労働や遊戯から、市場、図書館、マスメディアから一態度、価値観、能力、知識を獲得していく生涯にわたる過程。</p>	<p>定型的ないし不定型的教育の組織された状況の外部で、各個人にとって恒常的かつ偶然的に進行している学習の過程。「不定型的教育」と混同しないこと。</p>	
偶発的		<p>経験、観察、その他環境の刺激に対する反応からの学習</p>			
備考		<p>自己決定学習: 教師あるいはなんらかの教育機関によって意識的に組織されるのではなく、学習者自身によって、例えば読書、自己管理訓練、実習等を通じておこなわれる学習</p>	<p>学校外教育 定型的な学校及び高等教育システムの外部で行われる教育の総称。ただし職業訓練は除外される。 不定型的教育の同義語としても用いられる。</p>		

	ヨーロッパ成人 学習用語集 (UNESCO1999)	職業訓練政策用語集 (CEDEFOP2004)	学習活動分類マニュアル (EC2006)	ヨーロッパ成人学習用語集 (2008) (CEDEFOP2004 に準拠)	ヨーロッパ教育・訓練政策用語 (CEDEFOP2008) (CEDEFOP2004 に準拠)
定型的	学位、修了証明、資格証明の獲得に結び付いた教育領域	定型的学習 組織化され、構造化された環境(学校、訓練所あるいは職場内の)で生起し、学習として(課題、時間、資源に関して)明確に計画された学習。学習者の観点から意図的な学習である。一般的に修了証明書が得られる。	定型的教育 (UNESCO1997 に準拠) <区分基準> 意図的+制度化 国民資格枠組み(NFQ)認定の資格証明取得可能	定型的学習 組織化され、構造化された環境(例えば教育・訓練施設や職場)で生起し、学習として(課題、時間、資源に関して)明確に計画された学習。学習者の観点から意図的な学習である。一般的に認証され修了証明書が得られる	定型的学習 組織化され、構造化された環境(例えば教育・訓練施設や職場)で生起し、学習として(課題、時間、資源に関して)明確に計画された学習。学習者の観点から意図的な学習である。一般的に認証され修了証明書が得られる
不定型的	組織化された教育機関が実施するが資格証明書の発行を指さない教育領域	不定型的学習 学習として(課題、時間、学習支援に関して)明示的に区別されていないが、重要な学習要素を含む計画的活動の中に組込まれている学習。学習者の観点から意図的な学習である。通常は修了証明が得られない。 (補足) ゆるく制度化された学習の意味で用いられることがある。	不定型的教育 (UNESCO1997 に準拠) <区分基準> 意図的+制度化 国民資格枠組み(NFQ)認定の資格証明取得不可	不定型的学習 学習として(学習課題、学習時間、学習支援に関して)明示的に区別されていないが、計画的な活動の中に組込まれている学習。学習者の観点から意図的な学習である。	不定型的学習 学習として(学習課題、学習時間、学習支援に関して)明示的に区別されていないが、計画的な活動の中に組込まれている学習。学習者の観点から意図的な学習である。 (補足) 不定型的学習の成果は検証され、修了証明書を得ることもあり得る。 ゆるく制度化された学習の意味で用いられることがある。
非定型的	組織化も構造化もされておらず個人あるいは社会のレベルで管理されている教育過程の領域	非定型的学習 職業、家庭、余暇等に関連した日常活動から得られる学習。組織化、構造化(課題、時間、学習支援に関して)されておらず、ほとんどの場合学習者の観点からは非意図的である。一般的に修了証明書は得られない。 (補足) 非定型的学習という語は経験学習あるいは偶発的・偶発的学習の意味でも使用される。	非定型的学習 意図的ではあるがあまり組織化、構造化されていない学習で、家庭、職場、各人の日常生活における学習的出来事(活動)であって、自己決定的、家族管理的、社会管理的に行われるものを含むといえる。 <区分基準> 意図的 非制度的	非定型的学習 職業、家庭、余暇等に関連した日常活動から得られる学習。課題、時間、学習支援に関して組織化、構造化されておらず、ほとんどの場合学習者の観点からは非意図的である。	非定型的学習 職業、家庭、余暇等に関連した日常活動から得られる学習。組織化、構造化(課題、時間、学習支援に関して)されておらず、ほとんどの場合学習者の観点からは非意図的である。 (補足) 非定型的学習の成果は通常は修了証明書に至らない。けれども学習認証システムの枠組みによって検証され、証明されることもあり得る。 非定型的学習という語は経験学習あるいは偶発的・偶発的学習の意味でも使用される。
偶発的	偶発的で、日常的な労働生活の中で生じる教育課程に結び付いた教育領域		非学習活動 <区分基準> 非意図的な学習		
備考					

	教育分類国際基準 2011 (UNESCO2011)	不定型、非定型的学習の成果認定ガイドライン UNESCO (2012)	不定型、非定型学習の認定に関する評議会勧告 ヨーロッパ委員会 2012
定型的	<p>定型的教育 公的組織あるいは認定された民間機関によって制度化され、意図的に計画された教育で、その全体が一国のフォーマルな教育システムを構成する。定型的教育プログラムの認定は国の教育担当機関あるいはそれに相当する機関、例えば国あるいは地方の教育機関と共同している別の施設によって行われる。定型的教育を構成する主要なものは初期教育である。職業教育、特殊教育、さらにはある種の成人教育は多くの場合定型的教育システムの一部であると認定されている。</p>	<p>定型的学习とは教育・訓練施設で行われ、国の担当当局によって認定されており、修了証書や資格が得られる学習である。定型的学习はカリキュラム、資格、教育・学習条件などの教育的条件整備に準拠して構造化されている</p>	<p>定型的学习 学習のために特別に区別された、組織化され構造化された環境内で行われ、一般的に修了証明書、学位等の形態の資格証明の取得に至る学習。普通教育、初期職業教育、高等教育のシステムが含まれる。</p>
不定型的	<p>不定型的教育 何らかの教育提供主体によって制度化され、意図的に計画された教育。不定型的教育の決定的特徴は、個人の生涯学習過程において定型的教育への付加、代替、補完となることである。万人の教育へのアクセス権を保障するために提供されることも多い。すべての年代に対して提供されているが、必ずしも継続的な過程という性格を持つわけではない。期間的には短い傾向があり、集中性も低い。典型的な提供形態は、短期の講座、ワークショップ、セミナーである。不定型的教育の終了時に発行される修了証明書のほとんどは、国ないしは地方の権限のある教育当局正規の発行する正規の資格証明書ないしはその同等資格としては認定されないものである。証明書が発行されないものもある。不定型的教育は成人・青少年の識字や学校外児童教育の教育事業さらには生活能力、労働能力、社会的・文化的開発のための教育事業を普及するのに寄与している。</p>	<p>不定型的学習とは定型的学习の補完あるいは代用となる学習である。教育・訓練上の条件整備に準拠して構造化されていることもあるが、より柔軟である。不定型的学習は通常、地域社会での様々な場面や職場において、さらには市民社会組織の活動を通じて行われる。認定、検証、評価付けを実施することにより不定形学習を通じても資格やその他の社会的認定を得ることができる。</p>	<p>不定形学習 計画された活動（課題、時間に関して）を通じて行われ、なんらかの形態の学習支援（例えば学生-教師関係）が存在する学習。労働能力、成人識字、早期学校離脱者の基礎教育に向けられた教育プログラムをカバーしている。不定形学習の最も一般的な事例には、ICT 技能のように従業員の能力を更新、改善するための企業内教育、構造化されたオンライン学習（例えば公開的教育資源を活用した）、市民社会組織によって組織された構成員、活動対象層、あるいは一般市民のための学習講座などがある。</p>
非定型的	<p>非定型的学習 意図的あるいは計画的ではあるが制度化されていない学習。従って、定型的教育、不定型的教育と比較して組織化、構造化の程度が低い。非定型的学習に含まれるものとして、家庭、職場、地域社会、日常生活の場において自己決定的、家族管理的、社会管理的に行われる学習を挙げることができる。</p>	<p>非定型的学習とは日常生活において、家庭、職場、地域でおこなわれる学習、個人の関心や活動を通じて行われる学習である。非定型的学習で獲得された行動能力も認定、検証、評価付けの過程を経て可視化され、資格やその他の社会的認知を得るのに役立つ。ときには、経験からの学習という点に注目して非定型的学習のことを経験学習と呼ぶことがある。</p>	<p>非定型的学習 職業、家庭、余暇に関連した日常活動を通じて行われる学習。課題、時間、学習支援に関して組織化、構造化されていない。学習者の観点から意図的でないこともある。非定型的学習を通じて獲得できる学習成果の例は、生活および労働を通じて獲得された能力である。例えば、労働を通じて獲得されたプロジェクト管理能力や ICT 能力、外国滞在中に学習、獲得された言語や異文化能力、労働以外で習得した ICT 能力、ボランティア、文化活動、スポーツ、青少年活動、家庭の活動（例えば育児）を通じて獲得された能力などである。</p>
偶発的	<p>偶然的あるいは偶発的な学習 多様な形態の学習で、組織化されていないもの、あるいは学習のために考案されたコミュニケーションを含まないもの。偶然的あるいは偶発的学習は日常活動、出来事、教育あるいは学習活動を考慮して考案されたものではないコミュニケーションの副産物として生じるといえる。例えば、集会の過程で生じる学習、教育番組として考案されたものでないラジオ番組やテレビ放送を視聴している間に生じる学習を挙げることができる。</p>		
備考			

文献

- 1) Philip H. Coombs; Should one develop nonformal education? In: UNESCO; Prospects, Quarterly Review of Education. Vol.III. No.3 Autumn 1973 p. 289
- 2) UNESCO; International Standard Classification of Education. Abridged edition. UNESCO Paris 1975
- 3) UNESCO; Terminology of adult education. UNESCO Paris 1979
- 4) UNESCO Thesaurus. (<http://databases.unesco.org/thesaurus/>)
- 5) UNESCO; International Standard Classification of Education. ISCED 1997. UNESCO Paris 1997
- 6) UNESCO Institute for Education; Glossary of Adult Learning in Europe. Hamburg 1999
- 7) European Centre for the Development of Vocational Training(CEDEFOP); Terminology of vocational training policy. A multilingual glossary for an enlarged Europe. Luxembourg 2004
- 8) Classification of learning activities –Manual. European Commission 2006
- 9) Greg Brooks/ Maxine Burton; European Adult Learning Glossary, Level 1
- 10) CEDEFOP; Terminology of European education and training policy. A selection of 100 key terms. Luxembourg 2008
- 11) UNESCO; International Standard Classification of Education. ISCED 2011. UNESCO Paris 2011
- 12) UNESCO Institute for Lifelong Learning; UNESCO Guidelines for the Recognition, Validation and Accreditation of the Outcomes of Non-formal and Informal Learning. Hamburg 2012
- 13) European Commission; Proposal for a COUNCIL RECOMMENDATION on the validation of non-formal and informal learning. Brussels 2012